南アフリカ共和国からの便り

日本との関係 編

2019年度青年海外協力隊
赤塩健太 小学校教育 No.4

今回は、私が実際に感じて、調べた、日本と南アフリカとの関係について書きます。

2010 年決勝戦が行われたヨハネスブルグにある FNB スタジアム。７万人収容可能。

2010:FIFA ワールドカップ南アフリカ大会

史上初のアフリカ大陸開催となったワールドカップです。日本は日本開催のワールドカップ（2002 年）以外で、初の決勝進出となった大会でした。現地の人はサッカー大好きで、多くの日本人が応援するプロ野球チームがあるように、多くの南アフリカ人は応援するプロサッカーチームがあります。

南アフリカ「RSA」。日本へ出発する直前に空港にて。（外務省 HP より）

日本紹介プレゼンの１スライド。「日本は良い国だ」といつもほめてもらってばかりなので、ここぞとばかりに、日本がアフリカ諸国にも支えられていることを伝えました。実は、南アに来るまで、支援を受けていた事実は知りませんでした。感謝を伝えられる良い機会だったと思います。

2011：東日本大震災支援

2011 年３月 11 日の東日本大震災発生後、南アフリカ政府は NGO 団体「Rescue South Africa（RSA）」を日本へ派遣しました。外務省 HP より、活動を以下に記載します。

> 機械や装備が充実し，隊員は共に活動した日本の警察が感心するほど規律正しく，協調性も高いプロフェッショナル集団でした。RSA は宮城県岩沼市，名取市，石巻市，多賀城市において，救助・捜索および瓦礫の撤去作業などに従事。外国救助隊で唯一，持ち込んだゴムボートで水上と水中での捜索活動も行いました。RSA 隊員達の真摯で誠実な姿勢は，一緒に活動する日本の警察や消防，他国の支援チーム，さらに被災地の人々にも深い感謝の気持ちを呼び起こすものでした

この支援について南アフリカ人と話した時、誇らしげにこう言っていました。

「技術の高い救助活動ができたのは、南アフリカが高いマイニング技術を持っているからだと思うよ。困ったときはお互いさま。日本の役に立ててうれしいよ！」

日本と南アの、すてきな関係を感じた瞬間でした。

２ページ目の「輸出入上位の日本」に繋がります。

輸出入上位の日本

高いマイニング技術のおかげで、質の高い鉱物製品や貴金属を海外へ輸出できます。

南アフリカの貿易輸出国第４位、貿易輸入国第６位は日本です（2017 年 JETRO より）。遠く離れた国ですが関係はとても深いです。日本は、プラチナやパラジウムなどの鉱物製品や貴金属を主に輸入しています。どちらも装飾品（指輪など）や自動車、医療などにも使われています。とても貴重で、日本の産業には欠かせないものです。

いたるところで鉱山作業の跡を見かける。私の自宅近くにて。

2019：ラグビーワールドカップ

最近で南アを感じることといえば、なんといってもラグビーのワールドカップではないでしょうか。日本各地で試合が行われています。アジア開催は日本大会が初です。「日本 vs 南アフリカ」の試合は観た人も多かったのではないでしょうか？南アフリカでラグビーは人気が高いため、町でよくラグビーグッズを目にします。

よく使うスーパーにも特設コーナーが！

ラグビー日本代表には、南アにルーツをもつ選手が３人含まれている。

幸せなことに、日本 vs 南ア戦を南アで観戦。ユニフォームは南アでも、もちろん日本を応援！

みんな試合に夢中！モニターの前にいるのは基本、店員さん。

厨房の店員さんも試合に夢中！！こういう店員が許されるのも南アらしい。

もちろん上の３つだけではありません。今年なら TICAD（アフリカ開発会議）も大きなニュースになりました。日本と南アはまだまだたくさんの繋がりをもっています。